

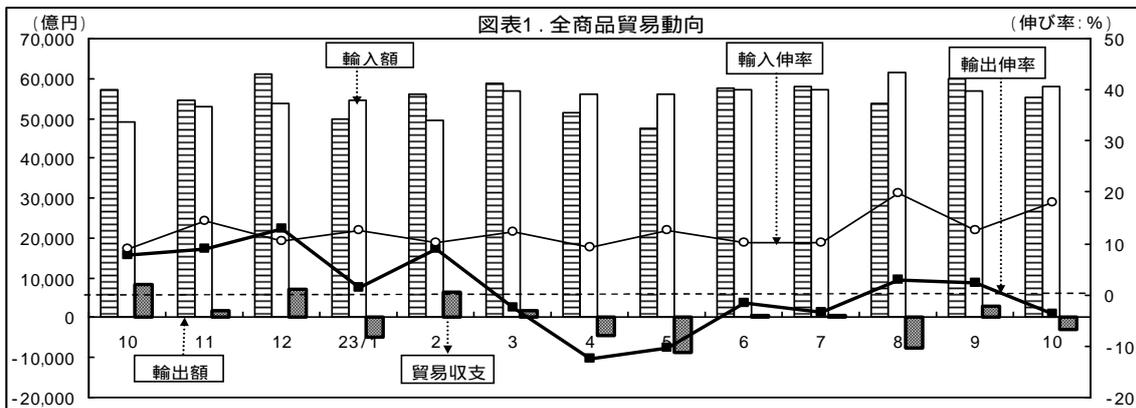
## 最近の機械貿易動向(10月)～機械輸出3ヶ月ぶりのマイナス、4地域でマイナス～

日本機械輸出組合 2011.12.22.

平成23年10月の機械輸出額は、3兆5,917億円、対前年同月比5%減と3ヶ月ぶりのマイナスとなった。これは、NIES/ASEAN向けが2桁減、中国、北米、EU向けもマイナスとなったこと、機械輸出額の1/3を占める自動車の伸び率鈍化、産業機械、電子デバイス、船舶等が大幅なマイナスとなったことが主因である。11月については、1ドル=77.3円と月間の最高値をやや下回り、3.2%の為替減少要因となり(営業日は同じ)、仮に11月の実質的伸び率を10月並の0.2%減とすると3.4%減になると予想される。因みに11月の機械輸出額は2.5%減であった(実質伸び率は0.7%増であった)。

### 1. 全商品貿易動向～大幅な入超により、貿易収支は再び赤字へ～

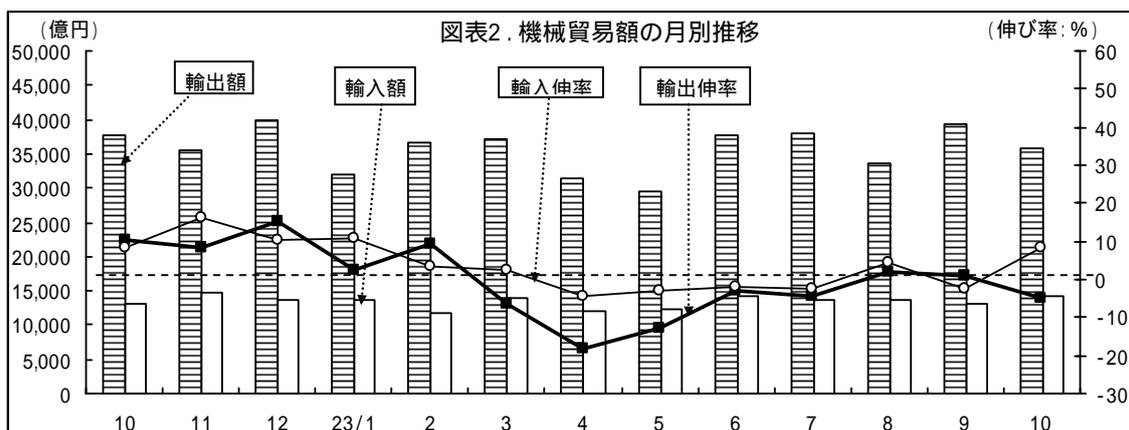
- 平成23年10月の全商品輸出額は5兆5,075億円、前年同月比(以下同じ)3.8%減と3ヶ月ぶりにマイナスとなった(9月2.3%増)。これは、全輸出額の約18%を占める電気機器(12.3%減)、20%を占める一般機械(5.6%減)、約23%の輸送用機器(0.2%減)がマイナスとなったためである。
- 輸入額は5兆7,876億円、18.0%増と22ヶ月連続の増加となった(9月12.5%増)。これは、全輸入額の約31%を占める原油、液化天然ガス等鉱物性燃料(35.6%増)、約9%の化学製品(21.2%増)、鉄鋼等原料別製品(18.7%増)、約3%の輸送用機器(18.3%増)等が高水準の伸びを続けているためである。
- この結果、10月の貿易収支は、輸入額が輸出額を上回り、入超となったことから前月の黒字から一転、再び2,802億円の赤字となった。1～10月累計では1兆9,433億円の赤字となった。



### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～機械輸出3ヶ月ぶりのマイナス転化、機械輸入は再びプラスへ～

- 全商品輸出額の65%を占める10月の機械輸出額は3兆5,917億円、5.0%減と3ヶ月ぶりにマイナスとなった(9月1.2%増)。輸出額の水準は、リーマンショック前の平成19年10月の69%と前月から9ポイント後退した(9月78%)。
- 一方、全商品輸入額の25%を占める機械輸入額は、1兆4,302億円、8.4%増と前月のマイナスから一転プラスとなった(9月2.5%減)。輸入額の水準は、リーマンショック以前の80.7%と前月より4.3ポイント(9月85%)後退した。



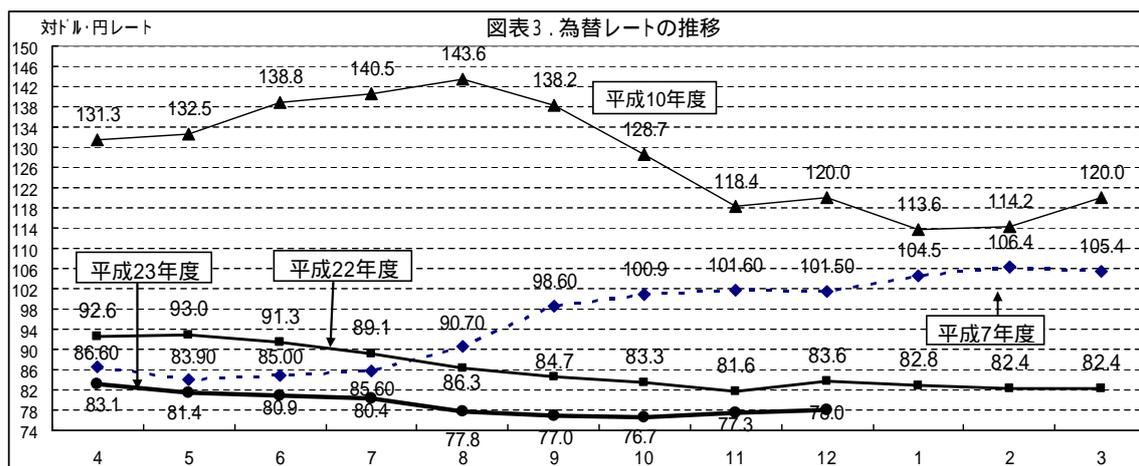
#### (2) 為替動向・営業日～10月は超円高で4.8%の減少要因、実質伸び率は0.2%減に下落～

1) 10月は1ドル = 76.7円と月間の最高値を更新し続け前年比7.9%の大幅な円高が続き、対ユーロ = 104円では8.5%の大幅な円高となり、合計4.8%減の為替減少要因となった。一方、営業日は前年と同じなので、合計4.8%の減少要因となった。

このため、10月の機械輸出は5%減であったが、為替要因を除く実質伸び率は超円高やタイ洪水の影響もあって0.2%減と再びマイナスとなった(9月5.8%増)。

2) 11月は1ドル = 77.3円と月間の最高値はストップしたが前年比5.3%の円高が続き、対ユーロ = 104.6円では5.8%の円高となり、合計3.2%減の為替減少要因となった。一方、営業日は前年と同じなので、合計3.2%の減少要因となった。

3) 12月は、対ドルが現状の78円とすれば6.7%の円高となり、また、対ユーロが現状の102円とすれば8.6%の円高に進み、合わせると4.2%減の為替減少要因となる。営業日が前年と同じなので、計4.2%減の減少要因にやや拡大する。



### (3) 地域別動向 ~ NIES/ASAN は2ケタの大幅減、中国、北米、EU向けもマイナスへ ~

1) 機械輸出が減少した地域的要因は、機械輸出額の26%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けが、韓国、台湾、香港、タイ(洪水の影響含む)、シンガポールが軒並み2ケタ減となり、業種では、半導体製造装置等産業機械、電子デバイス等が大幅に減少し、11.3%減と10ヶ月連続のマイナスとなったこと、約19%を占める中国向けが、半導体製造装置等産業機械(14.6%減)、電子デバイス(19.8%減)、軽電気機械(11.1%減)、民生用電子部品(18.5%減)等が大きく減少し、7.7%減と5ヶ月ぶりのマイナスとなったこと、21%を占める北米向けが、輸出額の48%占める自動車(3.1%減)が減少となった他、電子計算機(18.1%減)、デジカメ(18.6%減)、半導体製造装置(13.1%減)、電子デバイス(14.1%減)のマイナスが響いて2.6%減となったこと、約13%を占めるEU向けでは、自動車(10.8%増)は増加したものの、半導体製造装置等産業機械(11.3%減)、電子デバイス(34.1%減)、デジカメ(31.8%減)、重電気機械(12.8%減)の減少が響き1.1%減の減少となったこと、による。

2) 他方、約21%を占めるその他地域向けでは、ロシア東欧、中近東が2ケタの大幅増となったがアフリカ、中米、大洋州が二桁の落込みとなり、機種では、全体の35%を占める乗用車(1.8%増)、同11%の産業機械(30.5%増)、建設機械(53%増)等が寄与し、1.9%増と伸び率は縮小した。

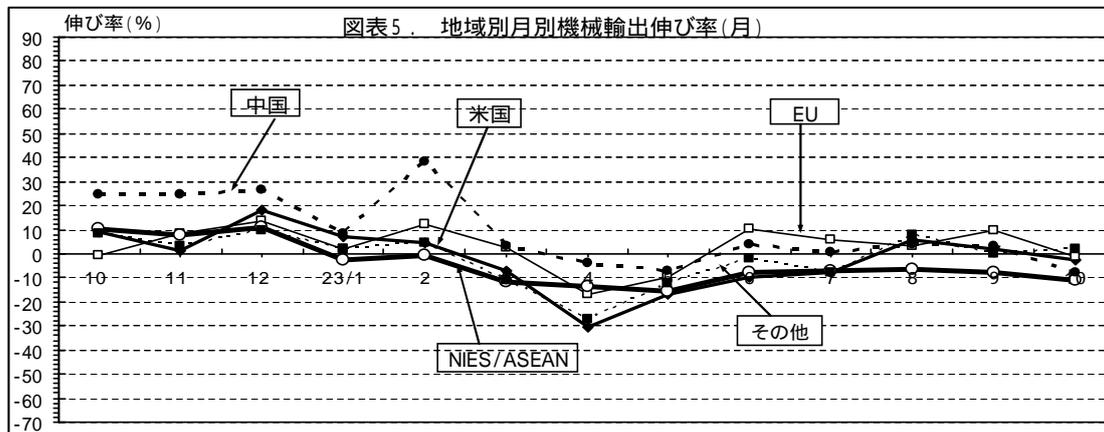
3) 地域別では、リーマンショック前の平成19年10月の輸出額と比較すると、水準を超えた地域は皆無となり、EU、北米、その他地域が50~60%台の低い水準となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2011/8			2011/9			2011/10			対07年10月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	33,682	1.8	100	39,385	1.2	100	35,917	5.0	100	0.69
北米	6,596	6.0	19.6	7,955	1.7	20.2	7,647	2.6	21.3	0.62
EU	4,352	3.2	12.9	5,150	9.4	13.1	4,634	1.1	12.9	0.53
NIES/ASEAN	9,552	6.2	28.4	10,497	7.6	26.7	9,486	11.3	26.4	0.75
中国	6,632	4.0	19.7	7,068	2.9	17.9	6,637	7.7	18.5	0.98
その他	6,549	7.8	19.4	8,714	6.5	22.1	7,513	1.9	20.9	0.65

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2011/7		2011/8		2011/9		2011/10	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,899	6.0	1,865	8.8	1,730	12.0	1,596	10.5
台湾	1,770	17.6	1,500	23.5	1,708	17.2	1,641	18.9
香港	1,656	21.9	1,459	8.2	1,567	16.8	1,470	19.0
タイ	1,665	4.6	1,531	3.1	1,778	7.6	1,483	10.9
シンガポール	1,226	38.9	1,018	8.5	1,071	6.9	781	22.1
インドネシア	878	0.6	676	5.0	940	4.1	837	7.5
マレーシア	843	1.8	716	3.0	809	6.2	736	8.7
フィリピン	443	20.3	453	8.6	532	0.3	586	16.4
ベトナム	306	2.9	290	10.9	325	5.0	303	9.5
<b>その他地域</b>								
中南米	2,497	19.2	2,072	4.7	2,816	4.1	2,333	7.3
中近東	1,293	10.7	1,293	5.8	1,420	14.3	1,520	17.7
大洋州	1,227	3.2	895	0.8	1,448	6.4	1,023	12.6
ロシア東欧等	1,308	8.0	1,105	7.4	1,454	28.4	1,446	21.5
アフリカ	674	19.2	631	12.7	865	38.9	567	21.5
インド	487	12.0	399	18.7	520	25.0	444	2.5

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～自動車は伸び率縮小も機械輸出を牽引、マイナス業種増加で減少傾向顕著～

- 業種別では、全19業種中マイナスとなったのが12業種で、前月より3業種増加し、減少傾向が顕著になった。全体の34%を占め機械輸出を下支えする自動車が2.8%増と伸び率を縮小させるも3ヶ月連続でプラスとなり機械輸出を牽引したが、産業機械(10.3%減、4ヶ月連続)、電子デバイス(20.9%減、10ヶ月連続)、船舶(26.7%減、2ヶ月連続)、民生用電子機械(17.5%減、8ヶ月連続)、通信機械(16.7%減、10ヶ月連続)、電子計算機(23.7%減、16ヶ月連続)、農業機械(13.9%減、2ヶ月連続)が2ケタの大幅減少となった。一方、光学機械(14.9%増)、建設機械(23.0%増)、工作機械(17.6%増)は2ケタの大幅増となった。
- この結果、リーマンショック前の輸出額を超えているのは医療機械、ベアリング、光学機械の3業種で、電子計算機は30%台、民生用電子機械、通信機械40%台に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

機種名	2011/8			シェア	2011/9			シェア	2011/10			対07/10比
	金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア	
自動車	10,094	4.3	30.0	自動車	12,978	6.3	33.0	自動車	12,222	2.8	34.0	0.66
産業機械	6,203	0.7	18.4	産業機械	6,108	7.7	15.5	産業機械	6,012	10.3	16.7	0.83
電子デバイス	2,931	16.5	8.7	電子デバイス	3,264	9.2	8.3	電子デバイス	2,716	20.9	7.6	0.58
船舶	1,516	27.7	4.5	船舶	2,471	2.7	6.3	船舶	1,319	26.7	3.7	0.70
軽電気機械	1,908	1.7	5.7	軽電気機械	2,156	1.7	5.5	軽電気機械	1,992	5.8	5.5	0.75
民生用電子機械	1,820	3.1	5.4	民生用電子機械	1,921	14.2	4.9	民生用電子機械	1,800	17.5	5.0	0.42
重電気機械	1,703	3.4	5.1	重電気機械	1,921	4.8	4.9	重電気機械	1,821	6.2	5.1	0.82
軽機械	1,183	5.7	3.5	軽機械	1,425	11.7	3.6	軽機械	1,331	2.6	3.7	0.73
光学機械	1,313	7.0	3.9	光学機械	1,463	20.2	3.7	光学機械	1,381	14.9	3.8	1.02
建設機械	1,047	10.1	3.1	建設機械	1,248	15.9	3.2	建設機械	1,181	23.0	3.3	0.87
工作機械	730	20.2	2.2	工作機械	886	36.0	2.2	工作機械	742	17.6	2.1	0.84
通信機械	464	8.3	1.4	通信機械	505	9.9	1.3	通信機械	470	16.7	1.3	0.46
電子計算機	463	7.9	1.4	電子計算機	472	20.0	1.2	電子計算機	456	23.7	1.3	0.33
ベアリング	359	16.0	1.1	ベアリング	406	14.9	1.0	ベアリング	383	1.5	1.1	1.06
陸用内燃機関	353	16.0	1.0	陸用内燃機関	440	20.2	1.1	陸用内燃機関	401	2.2	1.1	0.95
医療機械	284	4.7	0.8	医療機械	332	10.9	0.8	医療機械	308	1.0	0.9	1.21
繊維機械	174	12.6	0.5	繊維機械	158	15.7	0.4	繊維機械	208	1.1	0.6	0.74
農業機械	141	19.8	0.4	農業機械	129	0.2	0.3	農業機械	141	13.9	0.4	0.73
産業車両	124	11.7	0.4	産業車両	142	9.4	0.4	産業車両	130	1.9	0.4	0.58
19業種合計	32,810		97.4	19業種合計	38,425		97.6	19業種合計	35,014		97.5	0.69

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品。

(5) 機種別動向～運搬機械、建設機械、工作機等は好調、半導体製造装置、船舶等は減少～

- 1) 伸び率上位機種は、その他地域、ASEAN、北米等向け**運搬機械(50.7%増)**、その他地域、北米、ASEAN等向け**建設機械(23.0%増)**、北米、EU、その他地域等向け**工作機械(17.6%増)**、中国、韓国・台湾、北米等向け**光学機械(14.9%増)**、韓国・台湾、中国等向け**発電機(14.3%増)**、その他地域、ASEAN、EU等向け**風水力機械(11.1%増)**などとなっている。
- 2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、半導体製造装置(31.3%減)、船舶(26.7%減)、電子計算機(23.7%減)、民生用電子部品(23.6%減)、電子デバイス(20.9%減)、原動力機械(20.0%減)、TV(15.7%減)、農業機械(13.9%減)、デジカメ(11.9%減)、電気・電子計測器(10.1%減)などであった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/8			2011/9			2011/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
金属加工機械	333	56.0	発電機	137	61.5	運搬機械	247	50.7
船舶	1,516	27.7	工作機械	886	36.0	建設機械	1,181	23.0
産業用ロボット	106	27.0	光学機械	1,463	20.2	工作機械	742	17.6
デジカメ・ビデオ	673	21.0	陸用内燃機関	440	20.2	光学機械	1,381	14.9
工作機械	730	20.2	産業用ロボット	108	19.1	発電機	151	14.3
農業機械	141	19.8	分析・試験・検査機	816	16.8	風水力機械	704	11.1
陸用内燃機関	353	16.0	運搬機械	236	16.6	機種合計	4,406	12.3%
ヘアリング	359	16.0	建設機械	1,248	15.9			
発電機	97	14.2	ヘアリング	406	14.9			
産業車両	124	11.7	自動車部品	4,325	11.1			
機種合計	4,432	13.2%	機種合計	10,065	25.6%			

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/8			2011/9			2011/10		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
半導体製造装置	1,315	17.9	半導体製造装置	1,021	35.5	半導体製造装置	1,002	31.3
録画・再生機器	16	17.0	TV	85	30.0	船舶	1,319	26.7
電子デバイス	2,931	16.5	エアコン	10	25.9	電子計算機	456	23.7
TV	84	16.5	電子計算機	472	20.0	民生用電子部品	766	23.6
貨物自動車	572	14.4	ラジオ	10	19.1	電子デバイス	2,716	20.9
繊維機械	174	12.6	磁気カード・ディスク	168	16.8	原動力機械	407	20.0
民生用電子部品	852	12.0	繊維機械	158	15.7	TV	89	15.7
機種合計	5,944	17.6%	民生用電子部品	913	14.9	農業機械	141	13.9
			医療機器	332	10.9	デジカメ	707	11.9
			機種合計	3,169	8.0%	電気・電子計測器	370	10.1
						機種合計	7,973	22.2%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内

(6) 機械輸入動向～携帯電話、乗用車は大幅増、TV、電子デバイスは大幅減～

- 1) 10月の機械輸入伸び率は8.4%増と大幅増となったが、その要因は、二大輸入機種の電子計算機(0.8%増)がプラスに転じたこと、iPhone4s効果もありスマートフォン等携帯電話(約2.2倍)が倍増したこと、乗用車(40%増)、自動車部品(19.3%増)、光学機械(15.1%増)、白物家電(15%増)、分析・試験・検査機(23%増)が2ケタ増となったこと等による。

一方、二大輸入機種のもう一つ電子デバイス(16%減、10ヶ月連続)、TV(29.9%減、3ヶ月連続)、民生用電子部品(13%減、10ヶ月連続)が国内生産・販売の不振で2ケタの減少となった。

- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、TV、白物家電、医療機器、録画・再生機器、時計、ラジオ、エアコンとなっている。

- 3) 地域別機械輸入額は、中国(13.3%増)、ASEAN(2.9%増)、北米(6.4%増)、EU(15.4%増)、韓国・台湾(2.4%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2011/8				2011/9				2011/10			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,550	6.2	11.4	電子計算機	1,593	6.1	12.1	電子計算機	1,604	0.8	11.2
電子デバイス	1,389	28.4	10.2	電子デバイス	1,492	22.4	11.3	電子デバイス	1,518	16.0	10.6
乗用車	710	30.3	5.2	乗用車	685	41.5	5.2	携帯電話	1,013	117.1	7.1
重電気機械	680	9.6	5.0	自動車部品	654	2.5	5.0	自動車部品	702	19.3	4.9
自動車部品	619	1.1	4.6	重電気機械	618	1.2	4.7	乗用車	604	40.0	4.2
白物家電	557	27.8	4.1	白物家電	455	0.9	3.5	重電気機械	604	0.3	4.2
携帯電話	563	42.1	4.1	携帯電話	446	6.2	3.4	白物家電	496	15.0	3.5
TV	429	14.3	3.2	医療機器	402	3.3	3.1	医療機器	435	3.5	3.0
医療機器	429	6.0	3.2	TV	349	27.2	2.7	TV	392	29.9	2.7
光学機械	336	5.5	2.5	光学機械	337	3.4	2.6	光学機械	363	15.1	2.5
民生用電子部品	274	18.8	2.0	民生用電子部品	309	20.8	2.3	民生用電子部品	331	13.0	2.3
分析・試験・検査機	256	3.9	1.9	分析・試験・検査機	250	3.3	1.9	分析・試験・検査機	291	23.0	2.0
12機種合計	7,792		57.3	12機種合計	7,590		57.7	12機種合計	8,353		58.4

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械